

今から25年前、一人のフランス人の男が日本へやってきた。
 その名はドミニク・レギュイエ。40歳になったばかりだった。
 「国境なき医師団」の日本事務局をつくるのが彼のミッションだった。
 「ボランティア活動とは何か」「国際支援とは何か」「人道援助とは何か」――。
 長年、日本の国際ボランティア活動をリードしてきた末に見えてきたこと。

好評発売中

私はドミニク

「国境なき医師団」そして「国境なき子どもたち」とともに
 ～人道援助の現場でたどってきた道のり～

NPO法人国境なき医師団日本 元事務局長
 NPO法人国境なき子どもたち 元事務局長

ドミニク・レギュイエ [著]
 金珠理 [訳]



ドミニク・レギュイエ Dominique Léguillier
 1952年、パリで生まれる。路上での青少年指導をしていた学生時代を終えてから、数々の「旅」を試み、南アメリカ、インドやアジア各国、オーストラリア、ニュージーランド、そして日本に足を運んだ。1983年、フランスの国境なき医師団(MSF)活動に参加。1年間エチオピアで過ごし、その後MSFパリ事務所働く。1992年、日本でMSF日本を立ち上げた。何人かの志をともにする仲間と「国境なき子どもたち」を設立。2017年まで事務局長を務めた。

私は、一人の少年のためにこの本を書きたいと思う。
 彼は14歳だった。ブロークンな英語を話し、ちよつとした詩を書き、私の腕にぶら下がるのが好きな少年だった。彼、リチャードはマニラのストリートチルドレン、つまり路上で生活する子どもだった。リチャードは、マニラの街角で車に轢かれ14年の生涯を閉じた。事故のときも恐らくシンナーなどで泥酔していたのだろうと思われる。もっと別の世界で、別の街で、別の人びとに囲まれていたなら。リチャードは生き続けることができるはずだった。誰かが愛情をもつて彼に接していたなら。リチャードは死なずに済むはずだった。彼の命の重みを思いながら、この本を書き進めた。 (本文より)



フォトジャーナリスト
 安田菜津紀さん絶賛!

●A5判並製/232ページ (カラー16ページ)
 定価=本体1500円+税 発売=合同出版

オーダーはこの注文用紙を「国境なき子どもたち事務局」宛にファックスでお送りください。

ご請求書をFAXまたは郵送いたしますので、届きましたら代金のお振込みをお願いいたします。
 ご入金確認でき次第、商品を送送いたします。下記金額に別途、送料及び代金振込み手数料がかかります。 送信日 年 月 日

お名前		支援者番号	
おわかりでしたらご記入ください			
ご住所 〒			
TEL	FAX	Eメール	

1,500円(内税) × 冊 = 円

FAX 送信先

03-6279-1127

国境なき子どもたち事務局行き

MÉTIER DE DOMINIQUE